

第1回 「とちまる救急安心相談について」

1 調査目的

とちまる救急安心電話相談についての認知度・意識等を把握し、今後の施策の検討に活用します。

※とちまる救急安心電話相談の概要については、以下のサイトに掲載しています。

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/e02/welfare/iryou/kyuukyuu/kyukyudenwasoudan.html>

(担当課:保健福祉部 医療政策課)

2 調査概要

(1) 調査対象者

68,606 名 (LINEアンケート協力者)

(2) 調査期間

令和7(2025)年5月16日～5月19日

(3) 調査方法

栃木県公式LINEのアンケート機能を活用して実施

3 回答者属性

回答数 1,250 名 (回答率1.8%)

(1) 男女別内訳

性別	回答者数	構成比
男性	352	28.2 %
女性	885	70.8 %
未回答	13	1.0 %
計	1250	

(2) 年代別内訳

年代	回答者数	構成比
10代	4	0.3 %
20代	66	5.3 %
30代	210	16.8 %
40代	267	21.4 %
50代	322	25.8 %
60代	241	19.3 %
70代以上	140	11.2 %
計	1250	

(3) 地域別内訳

地域	回答者数	構成比
県央	651	52.1 %
県南	367	29.4 %
県北	215	17.2 %
県外	17	1.4 %
計	1250	100.0 %

(注)

(1) 調査結果に使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。

(2) 割合を百分率(%)で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示。四捨五入の結果、合計が100%にならないことがあります。

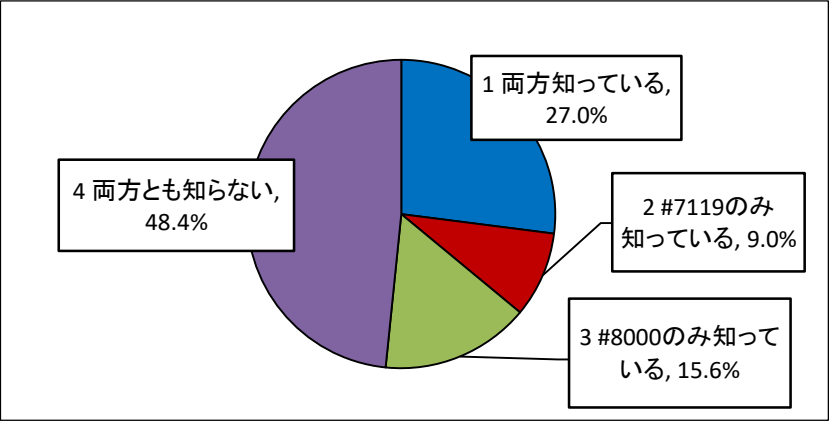
(3) 図表中の語句は、表記を短縮・簡略化している場合があります。

4 調査結果

問1 あなたは、とちまる救急安心電話相談(#7119(大人対象)あるいは#8000(こども対象))を知っていますか。

	構成比	回答数
1 両方知っている	27.0%	338
2 #7119のみ知っている	9.0%	112
3 #8000のみ知っている	15.6%	195
4 両方とも知らない	48.4%	605

(n = 1250)

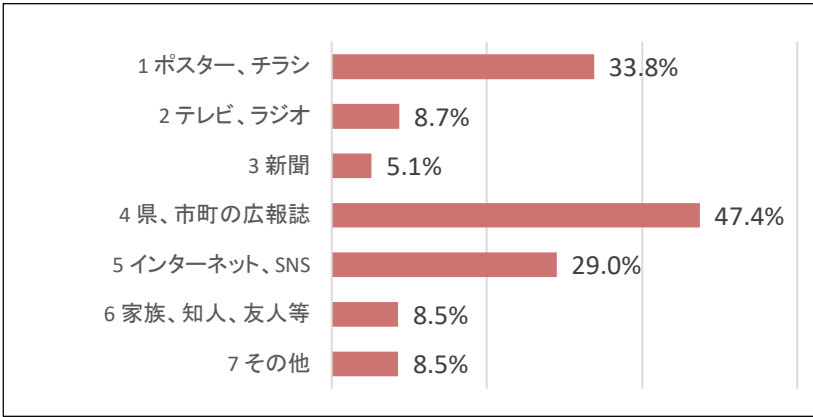


問2 【問1】で「4 両方とも知らない」以外を選択した方に伺います。#7119あるいは#8000をどこで知りましたか。

(2つまで回答可)

	構成比	回答数
1 ポスター、チラシ	33.8%	218
2 テレビ、ラジオ	8.7%	56
3 新聞	5.1%	33
4 県、市町の広報誌	47.4%	306
5 インターネット、SNS	29.0%	187
6 家族、知人、友人等	8.5%	55
7 その他	8.5%	55

(n = 645)



問3 【問2】で「7 その他」と回答された方は、具体的な内容をお書きください。

その他の主な意見

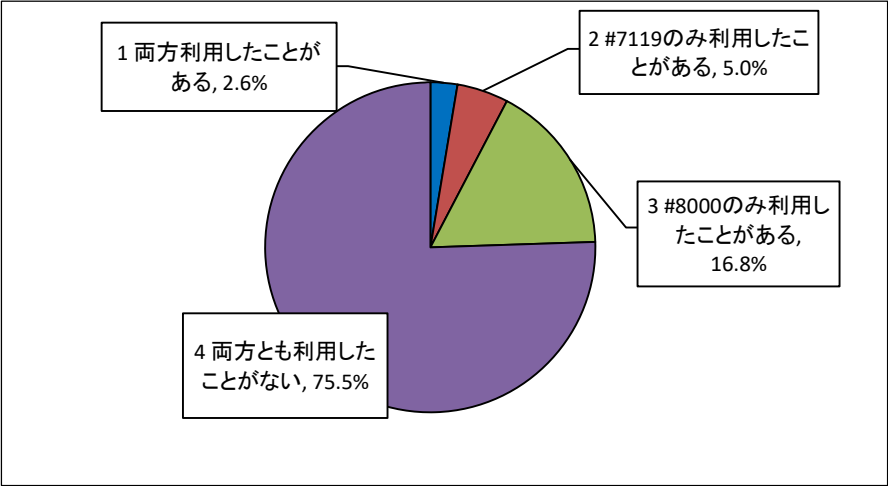
・出産時や検査時に、病院や自治体から聞いた
・母子手帳
・職場(医療関係)

(n = 55)

問4 #7119あるいは#8000を利用したことがありますか。

	構成比	回答数
1 両方利用したことがある	2.6%	33
2 #7119のみ利用したことがある	5.0%	63
3 #8000のみ利用したことがある	16.8%	210
4 両方とも利用したことがない	75.5%	944

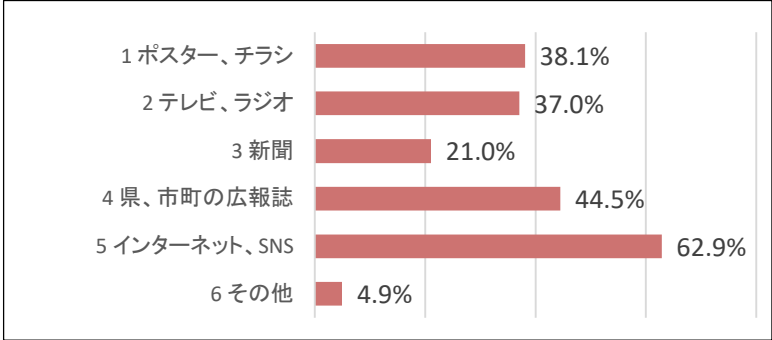
(n = 1250)



問5 #7119あるいは#8000を知ってもらうためには、どのような媒体が効果的だと思いますか。
(2つまで回答可)

	構成比	回答数
1 ポスター、チラシ	38.1%	476
2 テレビ、ラジオ	37.0%	463
3 新聞	21.0%	263
4 県、市町の広報誌	44.5%	556
5 インターネット、SNS	62.9%	786
6 その他	4.9%	61

(n = 1250)



問6 【問5】で「6 その他」と回答された方は、具体的な内容をお書きください。

その他の主な意見

・保育園、学校、病院等で案内
・回覧板
・著名人による周知（SNS等）

(n = 61)

問7 栃木県の救急医療体制についてのご意見があればお聞かせください。

主な意見

・夜間救急病院を増やしてほしい
・医療従事者（特に医師）の数が増えるとよい
・救急搬送時の選定療養費の徴収を検討するべき

(n = 377)